

総合的な学習の時間の実践

札幌市

総合的な学習
3年

繰り返し対象とかかわることで追究の質が高まる！

時計台の秘密を探れ！

<http://www.fan.hi-ho.ne.jp/douseiren/>

この指導案は、上記のHPよりダウンロードすることができます

単元の概要 と 単元構成

札幌のシンボルである時計台には、「来館者は観光客ばかり」という実態があります。「札幌市のシンボル」時計台が、札幌市民の人々にこそ、ぜひ知ってほしいとの願いから、子どもたちに時計台保守の井上さんとかかわらせる活動を通して、子ども自らが時計台を大切にする活動に取り組む実践です。

学習活動の流れ（15 時間）

時計台ってどんなところ（2）

時計台の秘密＝よさを調べよう！（9）

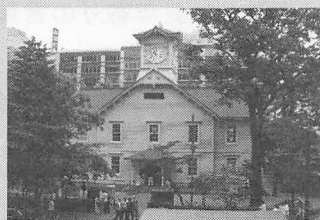
- ・時計台のこと（歴史的価値）
- ・来館者の声（時計台の人気）
- ・時計台を支える人（保守さんの思い）
- ・時計台にはたくさんのよさがあるんだ
- ・大切にされてきた建物なんだね
- ・時を知らせる井上さんの思いを大事にしよう
- ・時計台は、札幌のシンボルなんだ
- ・でも来館者は観光客ばかりだよ
- ・観光客には見る場所として、市民には使う場所として
- ・時計台は自分たちとつながりがあるんだ！

時計台のよさをみんなに伝えよう（4）

「時計は電気で動いている」「人が鐘を鳴らしている」と思い込んでいましたが、時計台保守により、70年以上も動いていることに驚きました。

時計台が、市民コンサートや結婚式場として利用されている事実は、見方や考え方を広げるきっかけになりました。

地域に札幌のシンボルがあることを生かした実践です。時計台に携わる人の思いにふれ、地域への理解と愛着を深めていきます。



札幌のシンボル時計台

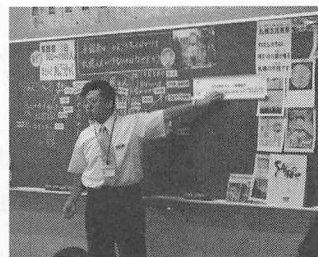
教材・活動の Point!

1. 時計台について追究する視点をもつ

鐘の音に魅力を感じた子どもたちが、「なぜ、たくさんの人が時計台に来るの？」という疑問をもちました。「時計台の秘密」を、①時計台のこと、②来館者の声、③時計台を支える人、の3つの視点を見出し、課題をつくりました。

2. 様々な立場の人に繰り返しかかわる

展示物やパンフレットだけに頼らず、「なぜ、ここにあるの?」「なぜ、人がこんなに来るの?」「なぜ、時計を守る仕事をしているの?」と、時計台関係者や観光客に繰り返し取材することで、「時計台は長い間、市民にも観光客にも愛され、大切にされてきた」ということが見えてきました。



3. 見方や考え方を転換する事実の提示

市民の来館が少ないという事実、「時計台は誰のために?」と考えることになりました。やがて、時計台のホールが市民に利用されていることや、時計台保守が本校に縁のある方であることといった事実から、「わたしたちの時計台」という意識を強くもつことにつながりました。

